

9月18日 金秀鋼材(株)と燃料支援の災害協定

災害時の迅速な救援・復旧活動に向けて、金秀鋼材株式会社(比嘉道雄代表)と「災害時における燃料の支援協力に関する協定」を締結しました。

今回の協定は、同社のかねひでSS小波津店が昨年の台風6号襲来時に、停電が長期化する中、燃料補給に応じて貰ったことで、水道提供業務を滞りなく行えたことをきっかけとしています。

調印式で金秀鋼材(株)比嘉道雄代表は「災害時に地域の皆さまの命を守るため、私たちが持っている資源を最大限に活用し、迅速な復旧活動に貢献できるように努めます」と述べました。



金秀鋼材株式会社 比嘉道雄代表

9月18日 やなえもん町立全学校全学年で命の授業へ



協賛企業

株式会社あおぞらコーポレーション 代表日高清仁さん
株式会社根川組 代表根川直樹さん
株式会社守礼工業 代表安里英明さん
株式会社 Team琉球エステート 代表 上間卓さん

西原町PTA連合会が企画する「やなえもん命の授業」の開催に向けた協賛金贈呈式が町役場で行われました。この企画は、町PTA連合会が、「やなえもん」に町立小中学校の全校全学年で命の授業をしてほしい」とスタート。開催するには約100万円が必要で、町内企業へ協賛を募ったところ、町内4企業の協力があり、開催費用を確保することができました。

新島悟教育長は「全校全学年での命の授業が実現することに感謝しました。ご協力いただいた企業の皆さまと企画した町PTAに感謝します」とあいさつ。「やなえもん」として活動する渡久地政貴さんは「やなえもんも町立全学校全学年での講話は初の試み。西原町のこどもたちのハートを大きくするために全力で取り組みます」と意気込みを語りました。「やなえもん命の授業」は今年度中に町立小中学校の全校全学年で実施されます。

9月20日 金融のプロから「お金について学ぶ」

西原中学校1学年を対象に、金融リテラシーを高めるため「お金の授業」が行われました。金融のプロである三井住友カード株式会社から講師を招き、決済サービスや金融トラブルについて授業が行われました。

授業では、キャッシュレス決済とクレジットカード決済について詳しく説明され、生徒たちは決済サービスの仕組みを学びました。また、ゲーム内課金やネット通販での金融トラブルについても注意が促されました。

講師を務めた松枝美雪さんは「ゲーム内課金やネット通販の金融トラブルが増えている。親とルールを決めて、正しくお金を使いましょう」と呼びかけました。



9月20日 フィギアスケートでスター選手たちと夢の共演



琉球大学附属中学校1年生の双木洸さんが9月に行われた荒川静香選手がプロデュースするフィギアスケートショーに出演し、報告のため町役場を訪れました。

双木さんは羽生弓弦選手に憧れ4歳からフィギアスケートを始め、県内の学生では唯一の男子スケーターとして、サザンヒルのアイススケート教室で練習しています。

全国の学生から3名しか選ばれないアイスショーに応募したところ、見事選出され、夢の舞台へ出演することができました。

双木さんは「今までテレビで見ていた選手を初めて見て、本当にいたんだ!とびっくりした。県外の男子スケーターとも交流できてとってもいい経験だった。いつか、日本代表としてオリンピックに出たいです」と心を躍らせながら話しました。

9月20日 車だけ? 交通ルールは 皆のもの

「車だけ? 交通ルールは皆のもの」をスローガンに秋の交通安全運動出発式が西原町役場の町民広場で行われました。この運動は、交通安全を推進し、交通事故ゼロを目指すため9月20日から30日までの10日間、全国一斉に行われます。

砂辺操浦添警察署長は「西原町では、今年8月末までに47件の交通人身事故、死亡事故はないが、重症事故が3件発生している。また、自転車に乗った小学生が被害にあった人身事故も起きている」と報告。続けて「地域住民の皆さんと関係機関が団結し、交通安全の取り組みを実施することが、安全安心な交通環境の実現に繋がります」と交通安全への協力を呼びかけました。



オープニングアクトでエイサーを踊る
さざなみ保育園の園児たち

副町長辞令交付式 町長就任式

10月2日、9月定例会最終本会議にて、崎原盛秀町長が提案した副町長選任についての議案が審議され、全会一致で同意されました。



辞令交付式の様子

21日に行われた、辞令交付式で副町長に再任した小橋川健次氏は「多様な化するニーズに応えるため、職員一丸となり、改革と一緒に進めていきたいと思います」と決意を述べました。



こばしがわ けんじ 氏
小橋川 健次 氏
昭和36年生まれ 宇津花波出身
沖縄国際大学卒業
昭和60年西原町役場採用 総務課長、教育部長、福祉部長などを歴任
令和2年に副町長に就任(1期目)

小橋川健次副町長が再任しました



第13代西原町長に再選した崎原盛秀氏の町長就任式が10月7日町役場で行われました。

第13代西原町長 崎原盛秀町長が再任

さきはらせいしゅ

就任式にて多くの町職員が見守る中、崎原盛秀町長は「二期目の町政運営にあたり、町職員の皆さまの協力が必要となります。一期目に引き続き、町政運営の大きな4つの柱として、①こどもたちの未来のために! ②明るいまちづくりのために! ③平和実現のために! ④確かな行政財政運営のために!」を掲げ、取り組んでいきます。私は職員に採用された時から今日まで、「初心を忘れず」を心に公務に励んで参りました。新たなスタートを迎えた今、私と共に、『住んでよかったまち西原町』を実現させるため、粉骨砕身で頑張っていきたいと思います」とあいさつしました。



住民説明会の様子

10月15日に南部広域行政組合によるごみ処理施設整備事業について、の住民説明会が西原町中央公民館で行われ、78名が参加しました。同組合は、沖縄本島南部の3市3町でごみ処理の一元化を進めており、小那覇地区が建設候補地に内定した経緯や、処理施設整備計画について説明しました。

ごみ処理施設整備事業 西原町住民説明会



「花笠三段節」

10月13日に17年ぶりとなる「うなふあ村あしび」が小那覇公民館横広場の特設ステージで上演されました。久しぶりの開催に集った多くの観客は、小那覇区民の織りなす美しい音色や舞、迫力ある演技に終始酔いしれました。



組踊「万歳敵討」

小那覇区の伝統の舞が17年ぶりに復活! 「うなふあ村あしび」



琉球民謡「梅の香り」

村あしびは三部構成で展開され、小那覇の琉球王朝時代から現代への移り変わりを表現しています。こどもたちも多く出演しており、地域の伝統芸能が次世代へ受け継がれ、さらに発展することが期待されます。小那覇区民の老若男女が世代を超えて共演した「うなふあ村あしび」は、笑顔と拍手に包まれ、大盛況のうちに幕を閉じました。泉川寛自治会長は「今日の日を待ち遠しくしていた。セリフや演技を覚えるのに苦労していたが、今日の舞台はこの上ない出来栄だった。楽しんでいただけたと思う」と充実感を語りました。